

2012.12.1

アニバーサリー 没後20年 ピアソラ / 没後50年 イベール
特集 最終回 生誕100年 山田一雄 を聴く

プログラム

今年ドビュッシーをはじめ、1912年生まれの名指揮者達の演奏等、アニバーサリー音楽家を特集してきました。年も押し詰まった特集の最終回は、イベール、ピアソラ、2人の作曲家、1912年生まれの名指揮者の最後は山田一雄の登場です。アルゼンチンの作曲家ピアソラの音楽は伝統的なアルゼンチン・タンゴを踏襲していますが、より高い芸術性を求めてクラシックやジャズの手法を取り入れ、独自の世界を造り上げました。今日はクラシック奏者による演奏を中心にピアソラの魅力を伝える3曲をお聴きください。イベールの音楽は近代的古典主義と呼べるものですが、自由で明晰な音楽性、洗練された曲想はフランスのエスプリを伝えるセンスの良さを感じさせます。最も良く知られた代表作「寄港地」。イベールの音楽性が最大限に発揮されたフルート協奏曲はこのジャンルの傑作のひとつです。

山田一雄(1912.10.19~1991.8.13)は小澤征爾や若杉 弘等が海外へ進出して行く中、日本のクラシック音楽界を支えて行った指揮者で、「ヤマカズ」の愛称で親しまれていました。情熱的な指揮で若者の熱狂的な支持を獲得。生誕100年を迎えた今年、その功績はもっと評価されるべき、という声が高まっています。名手ブレンデルとのベートーヴェン、N響とのシベリウスをお聴きください。

アストル・ピアソラ(1921~1992):
リベル・タンゴ

アルトゥール・モレイラ=リマ(ピアノ) (1970年代録音)

リシャール・ガリアーノ(アコーディオン)
(2008.8.30 東京国際フォーラム・ホールAでのLive)

ヴァルダリト(ホセ・フラカト編曲)

ギドン・クレメル(ヴァイオリン)
ヘッス・ロパス・コボス指揮ローサンヌ室内管弦楽団
(1995.12.12 ローサンヌ、メトロポールでのLive)

バンドネオン協奏曲~抜粋

ダニエル・ビネーリ(バンドネオン)
ペドロ・イグナチオ・カルデロン指揮アルゼンチン国立交響楽団
(1998.5.22 すみだトリフォニーホールでのLive)

ジャック・イベール(1890~1962):

交響組曲“寄港地”~ 1.ローマー パレルモ (2.チュニスーネフタ) 3.バレンシア
佐渡 裕指揮ラムルー管弦楽団 (1996年録音 NAXOS盤)

フルート協奏曲~第1楽章、第2楽章、第3楽章から

イレーナ・グラフェナウアー(フルート)
ミシエル・プラッソン指揮NHK交響楽団
(1994.5.25 NHKホールでのLive)

*** 休憩 ***

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770~1827):

ピアノ協奏曲第4番ト長調op.58~第1楽章、第2楽章から、第3楽章から
アルフレード・ブレンデル(ピアノ)
山田一雄指揮東京フィルハーモニー管弦楽団
(1978.10.7 日比谷公会堂でのLive)

ジャン・シベリウス(1865~1957):

交響曲第2番ニ長調op.43~第3楽章、第4楽章
山田一雄指揮NHK交響楽団
(1976.10.19 NHKホールでのLive)